

「加賀市スマートシティ宣言」

加賀市では、美しく豊かな自然と積み重ねられた歴史のもとで先人たちによって育まれた、伝統文化、産業、そして温かいおもてなしの心が、今へと引き継がれています。一方、少子高齢化と人口減少が進展することによって、労働力の不足や地域コミュニティの低下といった新たな問題が起き始めています。

そのような中、AI、ロボット、ビッグデータなどの先端技術を活用することによっては、本市の強みに更に磨きをかけるとともに、日常における様々な課題を解決していくことができます。

私たちは、暮らす人には安全安心で便利な生活へと質が向上し、また、訪れた人を優れた魅力と大いなる活気が包みこむ、そのような幸福と輝きが「人」と「先端技術」の調和によってもたらされているまち、「スマートシティ加賀」を市民共創で築いていくことをここに宣言します。

令和2年3月30日 加賀市長 宮元 陸

基本理念：人間中心の未来社会の実現

スマートシティ加賀 3つの戦略

- 1 デジタルファースト
～データ駆動型のまちづくり～
- 2 クリエイティブ
～創造的なまちづくり～
- 3 スマートシチズン
～市民との共創によるまちづくり～

スマートシティ加賀 運営の5原則

1. 透明性を確保したまちづくり
2. 公平性と多様性を重視したまちづくり
3. 相互運用性を確保したオープンで機敏かつ柔軟なまちづくり
4. 事業継続性を担保したまちづくり
5. 安心・安全・強靱なまちづくり

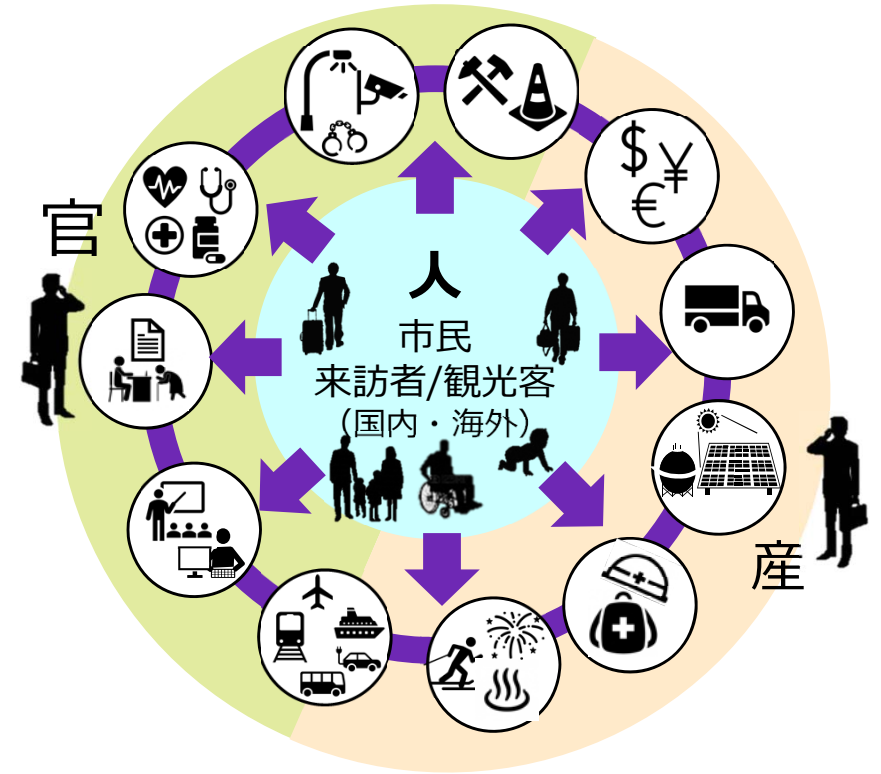
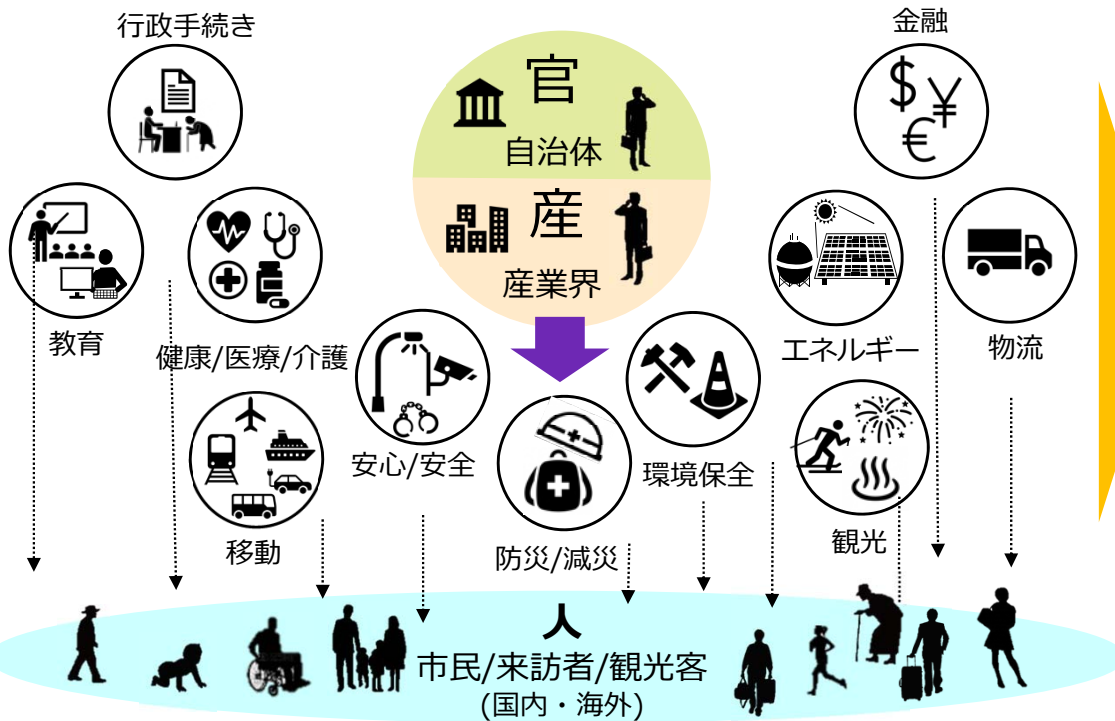
スマートシティ加賀 基本理念

人間中心の未来社会の実現

先端技術の導入に際しては、将来的に人々があらゆる面でより良い暮らしや幸福につながるものであるかを第一に考え、行政目線、産業界目線ではなく、常にユーザー目線に立った検討を行うように努めます。

公共主体の個別分野最適化のまちづくり

人間中心に全体最適化された公民連携によるまちづくり



スマートシティ加賀 3つの戦略

スマートシティで目指す方向性

◆スマート化による住民の生活の質の向上

- 先端技術を活用した地域課題の解決を図り、市民の生活の質の維持や向上を図ります。
- イノベーションを推進し、新たなサービスモデル構築を実現し、歴史と伝統文化に裏付けされた、市民がワクワクするような新たな未来社会の創造を目指します。

◆スマート化による来訪者の満足度向上

- 必要なサービスを時間や場所を問わず、最適な形で利用できる環境を構築します。
- 魅力的なライフスタイルを提供し、楽しく、働きやすく住みやすい環境を整えます。

◆スマート化による稼ぐ力の向上

- 先端技術を活用し、加賀市全体の稼ぐ力を強化します。
- データを最大限に活用し、イノベーションエコシステムを構築し新たなビジネス創出を行います。

3つの加賀の戦略

1. デジタルファースト ～データ駆動型のまちづくり～

- データを最大限に活かし、地域課題を解決すると共に、産業の活性化や都市機能の高度化を目指すスマートシティを推進し、都市の全体最適化を図ると共に、質の高い市民サービスの提供や効率的な自治体運営を行います。

2. クリエイティブ ～創造的なまちづくり～

- 社会実装実験等により、先端技術を有する市外の先進企業や高度人材を呼び込むとともに、伝統文化等、様々な分野で活躍する人材との交流・共創により、イノベーションを促進し、魅力ある企業の集積と新たな人の流れを創出する魅力的なまちづくりを行います。

3. スマートシチズン ～市民との共創によるまちづくり～

- 市民に先端技術に触れる場および当該技術を活用した新たなサービスを最適な形で提供するとともに、ITを含む高度専門人材育成を行い、当該人材を活用することにより、市民と共に学びながら共創し、より良く進化し続けるまちづくりを実現します。

3つの加賀の戦略の取り組み

1. デジタルファースト

- 官民の横断的なデータ連携による都市の最適化
- セキュリティの高い個人情報保護の強化
- 市内手続きのワンスオンリーの実現
- キャッシュレスの推進 等

2. クリエイティブ

- 先端技術関連の起業誘致及び起業家の育成
- 市内産業の先端技術の活用による付加価値向上
- 観光データ活用による観光産業の活性化
- MaaSを活用したナイトタイムエコノミーの推進
- 自治体新電力を活用したRE100の推進 等

3. スマートシチズン

- デジタルガバメントの推進及び市民の行政参画
- STEAM教育の強化
- データを活用したEBPMの推進
- 先端技術を活用したレジリエントな都市の構築
- 医療・福祉・健康分野のデータ活用によるフレイル予防の推進
- 働き方改革の推進
- SDGsの推進 等

スマートシティ加賀 運営の5原則

1 透明性を確保したまちづくり

先端技術を活用したサービスを公共の空間で展開する際に、「加賀市官民データ活用推進計画」に基づき、収集されるデータが、誰によって、どのような目的で、何のデータが収集されるのかを開示するよう努めるとともに、個人情報・プライバシーの保護に十分な配慮を行います。加賀市のまちづくりに係る情報やサービスについても、速やかに見える化し、様々な手段を通じすべての人々に伝えるよう努めます。

2 公平性と多様性を重視したまちづくり

先端技術に係るサービスや機会を希望するすべての者が、不平等なく、誰一人取り残さず提供を受けられる環境の構築に努めます。また、先端技術に係るサービスの社会的な価値や恩恵については、市民生活の質と環境の側面からの評価を行います。

3 相互運用性を確保したオープンで機敏かつ柔軟なまちづくり

先端技術の導入に際しては、システム間の相互運用性を高め、データが広く社会において適正に使われる「柔らかな社会インフラ」となることを目指し、その利活用が最大限に行われるように努めます。また、データに基づいて、都市のモニタリング、課題を分析し、都度シミュレーション等を通じ政策の立案、施策を実行し、日々生じる変化にすばやく適応する機敏かつ柔軟なまちづくりを行います。

4 事業継続性を担保したまちづくり

先端技術の導入に際しては、これによる事業の継続性を担保するため、エビデンスに基づく政策立案（EBPM：Evidence-based Policy Making）に基づき、事前の実証を行うなどデータに基づいた運用面・財政面の両方から検討を行います。

5 安心・安全・強靱なまちづくり

先端技術の導入に際しては、自然災害、不慮の事故、サイバー脅威その他のトラブルによる障害が発生した場合でも最低限の都市機能を維持できる能力を確保したシステムの構築に努めます。